

# 「自然耕塾@新潟」

# 募集要項

期間： 2月～10月（修了式、収穫祭）

〈塾申込手順について〉

- ① 別紙の「自然耕塾@新潟の申込書」に必要事項を記入してください。
- ② 記載した申込用紙を郵送もしくはFAXにて申し込んでください。
- ③ 申込書の内容が審査され、問題がなければ、入会金と講習費用のご案内が送付されます
- ④ 案内の指定口座へ入会金と講習費用の振込の手続きをお願いします。
- ⑤ お振込みを確認させていただいた段階で、申込が完了となります。なお、全過程を受講する目処が立たない方は、スポットでの参加をお勧めします。まずは、ご連絡をお願いします。

新潟市の不耕起田んぼ

たくさんのヤゴが羽化しました。

講師の園原先生です。



受講料	・ 塾生	¥64,800/年	修了者に修了証
	同伴受講	¥32,400/年	夫婦・親子修了者に修了証
	同伴スポット	¥4,300/日	夫婦・親子
	・ スポット	¥7,500/日	
	・ 卒業生の受講	¥21,600/年	

自然耕塾@新潟

講師 日本不耕起栽培普及会 会長 園原久仁彦氏

主催 Japan 不耕起組合 理事長 小池良一

新潟市中央区下所島 1-5-16 TEL : 080-3332-1033 FAX : 025-243-2882

実施場所 丸瀧公民館 新潟県新潟市江南区丸瀧新田

太い支柱：無農薬、無化学肥料でのお米、大豆、黒豆（お味噌）づくりで健康の支柱を自分で作る主食のお米、お味噌で 60 兆の細胞を支える！安全な食物でしか、家族の健康を支えることはできません！生きものいっぱいの田んぼを創って 4 年目、故岩澤信夫氏の提唱する冬期湛水不耕起移植栽培のイネづくりを新潟に普及させるのが目標です。

2017年度 自然耕塾の塾開催日予定表（自然耕塾@新潟）080-3332-1033 小池

塾開催日	過程	内容
会場は	講師	日本不耕起栽培普及会会長 園原久仁彦氏
	会場	丸潟公民館 新潟市江南区丸潟新田
	時間	AM:9時30分～
	持ち物	不耕起でよみがえる(本)、筆記用具、昼食、長靴等
02月26日(日)	観察	冬期湛水中の田んぼ
	見学	塩水選、浸種、育苗ハウス お味噌作り方
	講義	第01過程:総論(耕さない田んぼでのイネづくり)
	次月にむけて	苗作りの準備
03月25日(土)	観察	冬期湛水中の田んぼ、雑草の生育の様子
	見学	播種作業
	講義	第02過程:苗づくり(低温育苗)5.5葉苗づくり(最重要)
04月22日(土)	観察	冬期湛水中の田んぼ、苗の生育
	見学	ハウス育苗管理、5.5葉苗づくり(最重要)
	講義	第03過程:イネの生理と耕さない田んぼの特徴
	次月準備	田植えの準備
05月27日(土)	観察	苗の生育、田植え直前の田んぼの様子
	見学	田植機による田植え
	講義	第04過程:施肥技術
	次月準備	大豆栽培の準備
07月01日(土)	観察	5年目の冬期湛水不耕起田、大豆土中緑化さし芽栽培
	見学	稲の生長、深水の意味
	講義	第05過程:イネの生理2
07月29日(土)	観察	5年目の冬期湛水不耕起田、深水管理、生き物たち
	見学	豆畑
	講義	第06過程:栄養生長と生殖生長の転換期 第07過程:生殖生長
09月9日(土)	観察	イネの登熟
	見学	落水後の田んぼ、コンバインによる稲刈り
	講義	第08過程:登熟 第09過程:収穫期
10月27日(金)	【収穫祭】	温泉にて
10月28日(土)	観察	5年目の冬期湛水田、稲株の根、豆畑
	見学	お米の商品化施設(精米プラント)
	講義	第10過程:冬期湛水の準備
		第11過程:自然耕塾
		第12過程:まとめ
	【修了式】	

2月25日(土) 13:00～ 味噌作り 黒崎市民会館(黒崎地区公民館)

